

豊かな狛江をつくる市民の会通信

豊かな狛江

豊かな狛江をつくる市民の会

狛江市東和泉 1-1-18 いづみ荘 103 号室
新日本婦人の会狛江支部気付
連絡先：080-5084-1821（前土肥）
郵便振替口座番号 00140-3-727253

第 295 号（2025 年 2 月号） / 2025 年 2 月 1 日発行

核兵器廃絶を！ 101歳の気象学者の決意

豊かな狛江をつくる市民の会共同代表 増田善信

私は昨年 9 月に 101 歳になり、敏恵も 97 歳で、二人とも週 2 回のデイサービスに通っている状況です。10 月頃から車椅子生活になってなかなか思うような動きができませんが、新年を迎え、本年も命の限り、世の中の様々な問題に向き合っていきたいと、決意しています。

日ごろ私が考えている問題を皆さんにお伝えして、できればその運動を広げてまいりたいと考えています。

世界中が騒然としています。
NATO 派であるとか、ロシア派であるとか、中国派であるとか、それぞれ軍事同盟の仲間のどれかに属していないと激動の世界で生きていけないことが、いよいよ鮮明になってまいりました。私はこの問題からすべての国が非同盟のグループを作ってそういう外国の勢力のどれかに属さなくても生きていけるような世界を目指していければと願っております。

今、ウクライナへの核兵器の導入さえも話題になっています。

ビキニで 1954 年 3 月 1 日にアメリカが世界で初めてブラボー爆弾という実験をして、非常に大きな犠牲をした後で世界の反核運動が盛り上がったにもかかわらず、また核兵器を導入、あるいは実験をする動きさえも出ています。このような動きへ加担しなくてもいい国家を作るために非同盟の国を一国も多く作ることが必要です。

日本共産党はかつて分裂をしたことを反省して自主独立というキャッチフレーズを表明しました。自主独立はどこの派にもどこの国にも属さない、自分の頭で考え、作った方針でいこうと言われたとき

の感動を私は忘れることはできません。この自主独立は、国で言えば非同盟です。

核兵器廃絶の運動をさらに広げるためにも日本がアメリカの核の傘のもとから離れ自主独立の国へとになっていく運動を進めていくことを強く願っています。

昨年の被団協のノーベル平和賞受賞は私たちが進めてきた運動の大きな励みになりました。

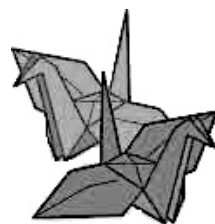
核兵器禁止条約が承認され、すでに発効までしているのに、日本被団協が核兵器禁止条約の制定に力を尽くしたという理由で、ノーベル平和賞を受賞したにも関わらず、依然として核に頼る状態が続いています。北朝鮮の金正恩は宇宙核戦争までも提案しています。

私が長い間常任世話人として所属している非核の政府の会が提唱している非核 5 項目は、核兵器を開発、製造、保有、使用することも「抑止力」の名で威嚇することも国際法上違反としています。

私は広島原爆の黒い雨の降雨域を明らかにして、広島の被爆者約 4000 人の被爆手帳を受領できるようにした気象学者として、なんとしても核に頼る世界を作ってはならないという思いであります。この機会に私が 101 歳の気象学者として命の限りこの運動を進めていきたい思いであります。

皆様もどうか核兵器廃絶の運動にお力添えいただきたく、新年のご挨拶とさせていただきます。

2025 年 1 月 10 日



市民センター改修で市民参加手続き行なわなかった！

－第4回定例市議会の質議で、市が初めて明確に認める－

第4回定例市議会の12月4日の一般質問で日本共産党の荒木徹議員は市民参加条例の運用についてたどしました。議員が「中央図書館の分割移転方針は市民参加の手続きを行わずに決定されたということですね」とたどすと、企画財政部長は「公共施設の配置に関しては限られた公有地の利用について総合的に公平な利用を確保する見地から検討する必要があります市民参加になじまず中央図書館の分割移転を含む狛江市民センター改修等基本方針については、条例に基づく市民参加の手続きは行っておりません」と市民参加の手続きを行なわなかったことを初めて明確な形で認めました。

市は「市民参加になじまない」「移転すること自体に手続きが必要ということではない」と言うけれど…条文は明快

市側は2023年3月議会で鈴木えつお議員の質問に対して「基本的考え方の解釈については、移転すること自体に市民参加の手続きが必要ということではなく…」(政策室長)などという勝手な解釈で市民参加の必要性を否定しましたが、今回も「市民参加になじまない」という言い方で条例に沿った市政運営に背を向けました。

しかし条文は明快です(条文参照)。条文を素直に読めば、中央図書館の分割移転方針の決定は「あらかじめ市民参加の手続きを」行なわなければならないことは明らかです。

恣意的な解釈は撤回すべき

荒木議員は「いつからそういう解釈したのか」とくり返し追及、市は「触れる必要がなかった」と述べるのみで答えられませんでした。議員は「市民参加条例の恣意的な解釈は撤回すべきだ。これが許されれば条文は空文化、死文化してしまう。狛江市の参加と協働が後退してしまう」と強く訴えました。

(ここまで荒木徹議員の議会報告を引用させていただきました)

市民の声が届く市政に

何のための市民参加と市民協働の条例なのか、今やその作成当時関わった市長の手によって、形骸化されようとしていると言わざるをえません。今後行われるさまざまな再開発計画なども、形ばかりの説明会(意見を求める会ではない)や、聞き置くだけのパブリックコメントによって、市民の声を聞かずに市の当初方針通りに進められてしまう可能性があります。

現在各地の自治体で、同様な市民無視の行政に対して住民投票を求める動きが広がっています。今年に入ってニュースに載った分でも、

- ・八代市の厚生会館の解体の是非
- ・熊本市庁舎建て替えの賛否
- ・茨城県行方市役所新庁舎整備事業の見直し
- ・清瀬市の地域図書館廃止

などがあります。

狛江の図書館住民投票条例制定を求める直接請求の取り組みでも、市民の声が届く市政、まさに市民の参加と協働条例に則り自分たちのまちづくりを求める声が多く聞かれました。市民の声を大きくしていく運動が必要です。

(周東三和子)

◎狛江市市民参加と市民協働に関する基本条例

第5条 市の実施機関は、次に掲げる行政活動を行おうとするときは、あらかじめ市民参加の手続きを行わなければならない。

(4) 市民の公共の用に供される大規模な施設の設置に係る基本計画等の策定及びその利用や運営に関する方針、又はそれらの変更

◎同条例の基本的考え方(逐条解説)

施設の設置に係る基本計画等の策定及びその利用や運営に関する方針に加え、「又はそれらの変更」を加えたのは、既存の施設の移転や廃止、統廃合、あるいはそれらによる跡地利用計画(学校統廃合や施設再配置による跡地活用や処分計画等)等も対象に含めることとしたものである。

防災フェアでの自衛隊戦闘 VR 体験、市長に再申し入れ

防災フェアでの自衛隊による「戦争体験」への「抗議と申し入れに対する回答」への再申し入れ

松原市長様

防災フェア自衛隊参加に関する私たちの抗議と申し入れに回答（狛総安発第 000354。以下、回答）をありがとうございます。しかし、回答は抗議に対して直接触れずに、申し入れに対してはあいまいです。

つきまして、再度、以下の質問への回答をお願いいたします。

1. 回答でも防災に対して「一人ひとりの自助に関する基礎的な知識・経験の習得促進を主な目的」としています。自衛隊のブースでおこなった「戦闘機・戦車の操縦と銃撃、パラシュート降下体験のヴァーチャルリアリティ体験」は、明らかに防災訓練とは無関係との私たちの指摘を率直に認めるべきではないでしょうか。その点での見解をお聞きます。
2. 回答では、参加機関に「普段はどのような活動を行っているのか等を市民の皆様に PR いただく機会でもある」として、戦闘訓練をあたかも正当化していますが、参加した自衛隊は迷彩服を着用し、指摘した事項しかブースでは実施していなかったと理解しています。つまり、「防災」とは名ばかりで、子ども達に「戦争体験」をさせるために参加したとしかいいようがありません。この点でも自衛隊を参加させたことは誤りであったことを率直に認めるべきではないでしょうか。見解を伺います。

3. 「狛江市平和都市宣言」を市議会一致で発している市として、子ども達に VR といえども「戦闘訓練」「戦争体験」をさせるようなイベントをして良いのでしょうか。見解を伺います。
4. そもそも、自衛隊は安保法制により集団的自衛権を保持し、米軍と統一指令部を設け、敵基地攻撃能力を持ちつつあります。明白な憲法違反であるとともに、専守防衛に徹せよとの世論は約 7 割です（全国世論調査 2024/8/3。日本世論調査会）。そうした現状を踏まえれば、政府に安保法制を破棄し大軍拡を止めるよう要請するべきではないでしょうか。少なくとも憲法違反の疑いがある自衛隊に対しては宣伝や隊員募集に協力するべきではないと考えますが、市長としての見解を伺います。
5. 以上、1 項～3 項は狛江市としてもそう難しいこととは思えず、直ちに反省をして、今後の防災フェアには自衛隊を呼ばないことを決定していただけるものと期待をしています。

2025 年 1 月 10 日

原発と気候危機を考える会
連絡責任者 西尾真人

*12 月 17 日付の抗議と申し入れに対する市からの回答は新婦人の抗議文に対する回答と全く同じものでした。なお、再申し入れについては 1 月 27 日現在市からの回答はありません。

「(仮称) 子ども条例」を子どもの権利条約に沿ったものに

現在、狛江市は「子どもの権利条約」を子どもの視点に立った施策の推進と市全体で子どもへの理解の促進・理念の共有するために「(仮称) 子ども条例」を制定しようと進めています。

「子どもの権利条約」は 1989 年 11 月に国連で採択され、日本も 1994 年 4 月に批准しています。子

どもの権利条約では、「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」の 4 つが、子どもたちが持つ基本的な柱とされています。その中でも「参加する権利」のうち「意見表明権」：自分の意見や欲求を出し、それに誠実に応答し

てもらえるという「良き人間関係が保障されるための権利」が大事だと言われます。

子どもたち一人ひとりと丁寧に向き合っていくことが求められているのです。

いま各自治体レベルで、この条約の考え方を取り入れた条例の制定が進められています。しかし、健全育成や子育て支援の枠組みを出ないものが多かったり、子どもの自己決定権を危険視する論調もよくみられるとのこと。例えば、強制や規制は禁止⇒しつけや学校教育が崩壊する！子どもの自己決定権⇒子どもが親の言うことを聞かなくなる！子どもは大人と対等な存在⇒子どものわがままが保障される！ など。

狛江市の資料によると、条例制定において大切にしたい視点として、

・自由で多様な価値観や考え方を認め合い、尊重

され、自己選択、意見表明、社会参画、協働の機会が保障されること。また、自己選択したことに對する支援を受けられ、意見表明したことが反映されること。

・安心安全にのびのびと暮らせること。
・このようなまちを世代を超えたすべての人とともにつくっていくこと。
と述べられています。

市では昨年秋からパンフレットやwebアンケートなどの作業を進めており、ワークショップやフォーラムなどを経て今年12月までに条例案を策定し、来年4月には条例を施行しようとしています。この条例が、子どもの権利条約に沿って「子どもの意見が取り入れられ、子どものために最も良いもの」になるよう、私たち市民も参加し意見を述べて行きましょう。

清瀬市でも、地域図書館廃止で住民投票条例制定めざす！

1月15日提出／確定署名数7,674筆（有権者の12%）

「住民投票で夢のある図書館を創るきよせの会」は、「図書館の廃止勝手に決めないで！」と住民投票条例制定の直接請求署名に取り組み署名確定数は7,674筆（必要数1,263筆の6倍）となり、1月15日市長に条例制定請求を行いました。臨時議会は2月初旬の見込みです。

きよせの会では議員に対する働きかけやハガキ作戦、2月2日には住民投票実現パレードを行う予定です。議員との懇談では、自分たちは選挙で付託を受けている、住民投票をしても変わらないからお金の無駄、他の図書館に行けばいい、意見は聞くけど議論はしない、など、狛江でも聞いたような意見が出されているようです。

一方、市民の間では、署名を通して多くの人と話し合う中で「清瀬をもっと良い街にしたい、そのために市民と向き合ってほしい」と思うようになったとの声があります。

狛江でも、議会で住民投票条例の制定が否決された後、これで終わりではないよね、市民の声を聞く市政にしていかなければの声が上がりました。その後の取り組みが遅れていますが、市民がつくる市政めざして動き出さねばと改めて思います。

（周東三和子）

地域図書館の廃止 勝手に決めないで
署名 7,674 筆を提出しました
さあ！住民投票を実現しよう
問われるのは市議会、一人ひとりの議員です

署名のご協力

ありがとうございます

4つの地域図書館（野塩・下宿・竹丘と元町こども図書館）の廃止の是非を問う住民投票を求める署名は、1ヶ月で8,278筆に達しました。

選挙管理委員会の審査の結果、有効署名数は7,674筆（有権者の12%）に。住民投票条例を求めるのに必要な有権者1/50（1,263人）を大きく超えました。ご協力に心から感謝いたします。

清瀬市長に条例制定の請求書を提出しました

1月15日、清瀬市長に対して、署名とともに住民投票条例の制定を求める請求書を提出しました。市長は20日以内に臨時議会を召集、住民投票条例について審議が行われることとなります。舞台は市議会に移ります。何としても条例を可決させて、市民の意見を表明できるよう、市議会議員に働きかけていきましょう。臨時議会の傍聴も呼びかけます！

イラスト：ありはらせいじ

さらなるご協力をお願いします

★議員へのハガキ作戦：住民投票条例に賛成してもらえよう、市議会議員にハガキなどで要請しましょう。電話やメールでも！（清瀬市議会のホームページに住所や電話などが載っています）

★図書館のこと みんなで決めよう！

住民投票実現パレードにご参加を！

2月2日（日）11時 かせのご広場集合

★臨時議会の傍聴（予定では2月初旬）。みんなで傍聴

しましょう！※日程は市報やホームページでご確認を。
←後日、動画配信もあります。今までの市議会の議論もぜひご視聴ください。

【住民投票で夢のある図書館を創るきよせの会】yumearutoshokan@gmail.com



「住民投票で夢のある図書館を創るきよせの会」のチラシ

2月の市民運動などの予定

※今月、市民運動団体などが予定している各種会議やイベントなど、日程を掲載するコーナーです。編集部が把握する情報には漏れがあると思いますので、ぜひあなたの情報をお寄せください。
※本紙に折り込んでほしいビラなどがありましたら、280部用意してください。会報製本・仕分け作業日前日が締め切りとなります。折り込み希望の方は、可能な限り、会報の製本・仕分け作業をお手伝いください。

日 時	会場など	内 容	問い合わせ先など
3日(月) 15時～16時	狛江駅前	Silent Standing	《平和憲法を広める狛江連絡会》《こまえ九条の会》
9日(日) 15時～16時	狛江駅前	9の日行動 ＝駅前署名・宣伝行動	戦争なんてイヤだ！狛江市民実行委員会
14日(金) 10時30分～	みんなの広場	「豊かな狛江」3月号 編集会議	
20日(木) 16時～ 17時30分	西河原公民館 学習室2	《平和憲法を広める狛江連絡会》《こまえ九条の会》合同世話人会	新しい方の参加大歓迎です。
24日(月) 14時～16時	みんなの広場	豊かな会拡大世話人会	世話人以外の方の参加歓迎です。
25日(火) 9時30分～	みんなの広場	豊かな会会報『豊かな狛江』3月号の製本・仕分け作業	折り込みのある団体はご参加ください。
25日(火) 14時～16時	東京土建狛江支部会館	こまえ社保協事務局・役員会	各加盟団体の皆さんは、ご出席ください。
26日(水) 17時30分～ 18時30分	狛江駅前	《消費税をなくす狛江の会》の署名行動	民主商工会や東京土建狛江支部などが中心。第4水曜日。

狛江市議会 2025年第1回定例会

2月19日(水) 本会議(初日)
2月26日(水) 本会議(一般質問)
2月27日(木) 同
2月28日(金) 同
3月5日(水) 総務文教常任委員会
3月6日(木) 社会常任委員会
3月7日(金) 建設環境常任委員会
3月12日(水)～14日(金)
予算特別委員会

3月17日(月) 予算特別委員会予備日
3月26日(水) 本会議(最終日)

請願・陳情締切：第1回2月7日(金)
第2回3月7日(金)



「あの夏の絵」 狛江公演を成功させる会が発足

青年劇場が 2015 年以来毎年、学校や地域で公演してきた「あの夏の絵」を、いよいよ狛江のエコルマホールで実施することになりました。そのための標記の「成功させる会」が東京土建狛江支部の牧岡さん、新婦人狛江支部の周東さん、音楽家の大熊さんを共同代表として、豊かな会など 7 団体と、個人 11 名で 1 月 16 日に発足しました。

広島市立基町高校が平和資料館の依頼で、被爆者の証言を聴き取り、絵に起こすことで被爆体験を継承していく「原爆の絵」の取り組みを続けていることは一昨年の平和フェスタや昨年の新婦人の「高校生の描く原爆の絵展」の展示でご存知の方も多いと思います。

「あの夏の絵」は、作者の福山啓子が実際に基町高校生や、教員、被爆者などを取材して事実を基に描かれた舞台作品です。依頼を受けた高校生たちが被爆の実態の悲惨さや継承する責任の重さに向き合う中で、お互いにぶつかり合い、葛藤しながら友情を育みつつ絵を完成させる姿がすがすがしく描かれています。

また、高校生が被爆者の苦しみや想いに寄り添い、一緒に絵を完成させていく姿は、世代を超えて体験を継承していくことの大切さや平和な未来への希望を感じさせる内容となっています。

今の世界はロシアによるウクライナ侵略、イスラエルによるガザへのジェノサイド攻撃が続き、核兵器が脅しとして使われています。国内でも違憲の集団的自衛権を持つ安保法制が強行され、敵基地攻撃可能な武力が整えられようとしています。唯一の戦争被爆国にも関わらず、核兵器禁止条約締約国会議にオブザーバー参加すらしていません。

そうした中で、今年は被ばく 80 年、昨年暮れには被団協がノーベル平和賞を受賞したこともあり、「あの夏の絵」の上演は、核兵器廃

絶を願い、平和を考える絶好の機会になるし、しなくてはならないと思います。まずはエコルマホールを満席にしましょう。

読者の皆さんにはぜひ、積極的に正会員になり、あるいは賛同会員になって公演の成功に協力をお願いしたいと思います。

具体的な宣伝・チケット販売は 3 月頃からを予定しています。事務局 西尾

2025 年 7 月 3 日（木）

開演：午後 6 時 30 分

（開場 5 時 30 分予定）

終演：午後 8 時 30 分予定

場 所：エコルマホール

チケット 一 般 ： 3,000 円

高校生・学生：500 円

中学生以下：無料



写真提供：青年劇場



寄稿

東野川在住の稲浦俊介さんより、「1980年に40歳で凶弾に倒れたジョン・レノンの名曲「Happy Xmas」訳詞して譜面にしました。この訳詞は渾身の力作です。」との寄稿がありました。譜面は載せるスペースがないため、訳詞のみご紹介します。

素敵なクリスマス(戦争をやめよう)

訳詞:白井 関 2024/12/25

(主旋律)

(副旋律)

1. 今宵クリスマス

ゆく年に
心残りの
ことないように

素敵なクリスマス
幸あれよ
老いも若きも
挙れるように

祝おうクリスマス
人の世の
むごいことが
終わるように

2. 今宵クリスマス

飢えた人
苦しむ人
生まないように

素敵なクリスマス
肌の色
違って
睦めるように

祝おうクリスマス
人の世の
むごいことが
終わるように

3. 今宵クリスマス

来る年に
心がかりの
ことないように

素敵なクリスマス
幸あれよ
老いも若きも
挙れるように

祝おうクリスマス
人の世の
むごいことが
終わるように

Coda 僕と君
声合わせ
戦争をやめよう
いま!

祝おうクリスマス
人の世の
むごいことが
終わるように

僕と君
声合わせ
戦争をやめよう
いま!

僕と君
声合わせ
戦争をやめよう

祝おうクリスマス
人の世の
むごいことが
終わるように

僕と君
声合わせ
戦争をやめよう
いま!

僕と君
声合わせ
戦争をやめよう

祝おうクリスマス
人の世の
むごいことが
終わるように

僕と君
声合わせ
戦争をやめよう
いま!

Happy Xmas (War Is Over)

詞・曲: John Lennon

(主旋律)

(副旋律)

1. So this is Xmas

And what have you done?
Another year over
And a new one just begun

And so this is Xmas
I hope you have fun
The near and the dear one
The old and the young

A very Merry Xmas
And a happy New Year
Let's hope it's a good one
Without any fear

2. And so this is Xmas

For weak and for strong
For rich and the poor ones
The road is so long

And so happy Xmas
For black and for white
For yellow and red ones
Let's stop all the fight

A very Merry Xmas
And a happy New Year
Let's hope it's a good one
Without any fear

3. And so this is Xmas

And what have we done?
Another year over
And a new one just begun

And so happy Xmas
We hope you have fun
The near and the dear one
The old and the young

A very Merry Xmas
And a happy New Year
Let's hope it's a good one
Without any fear

Cod War is over!
if you want it
War is over!
Now!

A very Merry Xmas
And a happy New Year
Let's hope it's a good one
Without any fear

War is over!
if you want it
War is over!
Now!

War is over!
if you want it
War is over!
Now!

A very Merry Xmas
And a happy New Year
Let's hope it's a good one
Without any fear

War is over!
if you want it
War is over!
Now!

War is over!
if you want it
War is over!
Now!

A very Merry Xmas
And a happy New Year
Let's hope it's a good one
Without any fear

War is over!
if you want it
War is over!
Now!



1月の9の日行動

11月から3月までは日暮れが早いので、冬時間で15時から16時までの署名と宣伝行動をしています。それでも日が当たらないと寒い中、13人参加。以前の分も含めて23筆集まりました。憲法改悪反対に限らず、核兵器廃絶、被団協のノーベル平和賞受賞で核兵器禁止条約に日本政府を署名を、暮らしのことなど訴えました。

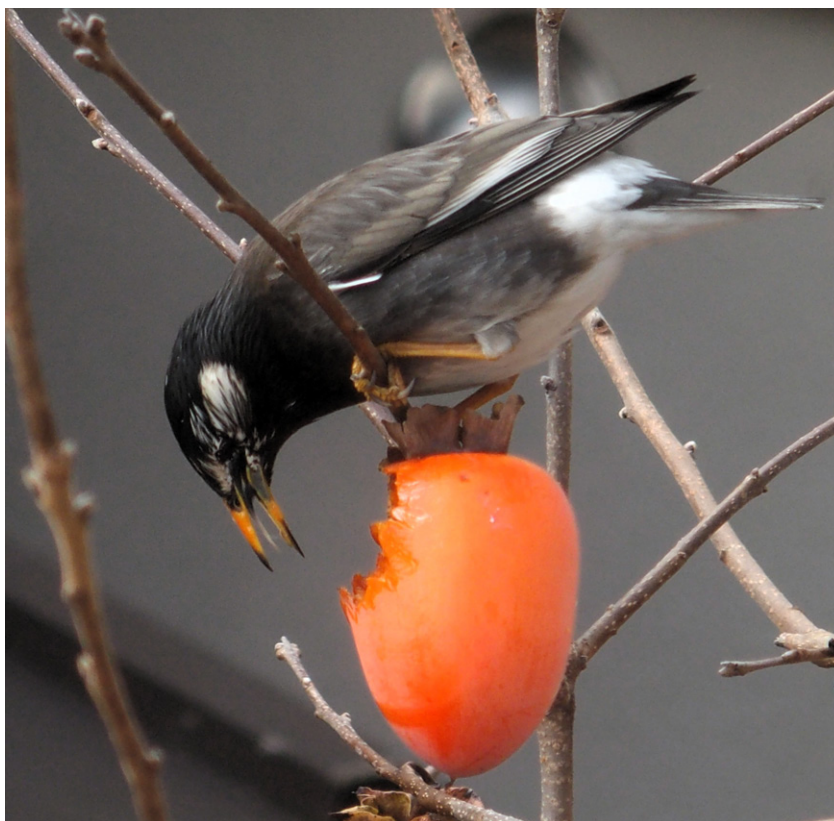
豊かな粕江をつくる市民の会

2025年総会

5月17日(土) 14時～16時

会場：東京土建粕江支部会館

粕江の自然



ムクドリ

都市部ではフンや大群による鳴き声で害鳥として嫌われています。我が家には数羽程度で来ますが、確かにところかまわず（当たり前ですが）フンをして、鳴き声も大きいですね。

我が家はキンカンやセンリョウもあるので、11月から1月頃に掛けてはネットで「防御」しています。お隣の柿の木は毎年、沢山の実をつけ、この時期は熟して絶好の食事になっているようです。

(和泉本町 西尾 真人)